

令和4年度における施策の取組状況と成果について

1 基本項目

コンセプト	1	自分らしく生きる
施策	1	性別や国籍に関わらず、多様な価値観を認め、尊重するまち
取組みの概要		
多様な価値観や文化の違いを受け入れ、認め合うことができるよう、男女共同参画や国際理解、多文化共生の推進などに取り組みます。		

第六次羽村市長期総合計画におけるコンセプト、施策の名称と、基本構想で掲げる取組みの概要を記載しています。

2 施策を構成する主要な事務事業の事後評価結果

事業名	進捗状況	妥当性	効率性(手法)	達成度	総合評価
◎ No.1 多様な性に関する意識の啓発・相談の実施	計画通り完了	A	A	A	計画通り実施
No.2 男女共同参画の推進	計画通り完了	A	A	A	計画通り実施
No.3 多文化共生の推進	計画通り完了	A	A	A	計画通り実施

※◎は実施計画事業

施策を構成する主要な事務事業の事後評価結果の一覧を記載しています。

3 事後評価の概要

<p>本施策における3事業については、すべて「計画通り完了」しており、各評価項目を勘案した総合評価は、いずれも「計画通り実施」となっている。</p> <p>このことから、各事業とも大きな課題は無いものと考えられるが、No.2「男女共同参画の推進」については、今後、パートナーシップに係る取組を推進する中で、提供できる行政サービスの充実にに向けた検討を進めるとともに、意識啓発・周知に関する効果的な取組を検討・実施することとしている。</p>
--

事後評価結果の概要を記載しています。

4 行政評価委員会のコメント

<p>コンセプト1「自分らしく生きる」、施策1「性別や国籍に関わらず、多様な価値観を認め、尊重するまち」では、3事業について成果の確認を行った。</p> <p>いずれの事業も「計画通り完了」しており、コンセプトや施策の実現に向け、取組の着実な推進が図られていることが確認できた。</p> <p>総合評価については、いずれも「計画通り実施」していきとされており、妥当な評価である。</p> <p>個々の事業については、No.2「男女共同参画の推進」について、パートナーシップ宣誓制度の運用は、多様な性への理解を深め、性的マイノリティの方々が暮らしやすい環境づくりに繋がる取組であることから、提供できる行政サービスの充実にに向けた検討や、意識啓発・周知などに引き続き取り組むこと。</p>
--

行政評価委員会における成果確認を踏まえたコメントを記載しています。

5 外部評価委員会からの意見等

<p>外部評価委員会からの意見等</p>

外部評価委員会における評価結果を踏まえた意見等を記載します。

1.基本項目	作成部署	総務部、企画部	総務課、秘書広報課
事業名		実施期間	事業種別
多様な性に関する意識の啓発・相談の実施		継続	運営手法
		自治事務(市独自)	業務委託(一部)
連携部署	1		
コンセプト	1 自分らしく生きる		
施策	1 性別や国籍に関わらず、多様な価値観を認め、尊重するまち		
方向性	1 お互いを理解し、違いを尊重し合う意識の醸成		

事業名や当該事業の長期総合計画における位置づけなど、事業の基本項目を記載しています。

2.事業の概要

事業概要	「性的指向」や「性自認」に関する理解を深め、LGBTQなどの人々に対する誤解や偏見をなくすため、多様な性に関する啓発活動、性的指向や性自認に関する悩みごと相談に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市女性・SOGI悩みごと相談実施要綱

令和4年度における事業概要と当該事業に関連する関係法規を記載しています。

3.実施計画

Plan【計画】	令和4年度
事業内容 事業量等	・多様な性に関する市民・事業者への周知・啓発 ・性的指向や性自認に関する悩みごと相談の実施(女性悩みごと相談の対象拡大)(月2~3回×12月)

令和4年度当初における計画(事業内容・事業量等)を記載しています。(Plan【計画】)

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	令和4年度(当初)		積算根拠
	人数	概算時間	
係長職	1人	57H	・相談受付・集計等 1か月7H×12か月 ・その他事務 30時間
主事・主任職	1人	57H	

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	令和4年度(当初)
事業費	489
人件費(係長職)	246
人件費(主任・主事職)	177
総事業費(合計)	912
国庫支出金	0
都支出金	0
市債	0
その他特定財源	0
一般財源(人件費含む)	912
財源内訳(合計)	912

令和4年度当初における年間業務時間、総事業費、総事業における市民一人あたり(令和4年4月1日人口:54,514人)のコストを記載しています。

③コスト計算

当該事業に対する対象者や成果(物)がある場合は、対象者や成果(物)の単位あたりのコストを記載しています。

③コスト計算

ア 市民 54,514 人における1人あたりのコストは、 円

イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円

※ 対象者:

ウ 成果(物) の 出来高 あたりのコストは 円

Do【実行】

5.実施結果

計画通り完了 計画を見直し完了 遅延 中断

①指示事項(令和4年7月28日付「令和4年度第1四半期の事務事業執行状況を踏まえた指示事項」)

		指示事項
無	有	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

「性的指向」や「性自認」に関する理解を深め、LGBTQなどの人々に対する誤解や偏見をなくすため、多様な性に関する啓発活動、性的指向や性自認に関する悩みごと相談に取り組んだ。
 多様な性に関する啓発活動では、「女と男、ともに織りなすフォーラム」において、「多様な性への理解促進」をテーマに講演会を実施した。その他、「多様な性を理解するためのハンドブック」の作成、広報はむらへの多様な性への理解促進をテーマとしたミニコラム等を掲載し、周知・啓発に努めた。
 「女性・SOGI悩みごと相談」は、これまでの「女性悩みごと相談」から対象を拡大した上で、27回実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	489	0	489	486	99.4%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	57H	1人	57H
主事・主任職	1人	57H	1人	57H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○多様な性に関する市民・事業者への周知・啓発 ○性的指向や性自認に関する悩みごと相談の実施(女性悩みごと相談の対象拡大)(月2~3回×12月)		○多様な性に関する市民・事業者への周知・啓発 ○性的指向や性自認に関する悩みごと相談の実施(女性悩みごと相談の対象に性的少数者を追加)(27回)

令和4年度における事務事業の実施結果について記載しています。(Do【実行】)

- 計画通り完了
令和4年度に掲げたPlan【計画】が予定通り進行し、完了したものの
- 計画を見直し完了
令和4年度に掲げたPlan【計画】を実施したが、何らかの事由により計画通り事業が達成できなかったものの
- 遅延
令和4年度に掲げたPlan【計画】を計画どおり実施していない又は、遅延しているもの
- 中断
令和4年度に掲げたPlan【計画】を実施したが、不可抗力(法改正や天災等)の事由により事業が中断しているもの

- ①指示事項
令和4年7月28日付で発出された市長指示事項がある場合は、その内容が記載されています。
- ③投入実績
4.投入指標②事業費の総事業費から人件費を除いた額を記載しています。

Check【評価】

6.事業の評価

項目	評価視点	評価評点	
妥当性	市が実施(関与)することの妥当性	公共性や公平性、国や東京都、民間事業者が提供するサービスとの重複や競合などの観点から、市が実施(関与)することは妥当か。	A
		多様な性への理解促進の取組は国や東京都、関係機関等でも行われているが、あらゆる機会を捉えて市が実施することは必要である。 東京都でも同様の相談を実施しているが、相談者の利便性から市でも実施する必要はあると考える。また、プライバシーへの配慮から福生市との協定により相互利用を可能としており、福生市民の利用もある。	
	事業・対象の妥当性	事業や事業の利用者・対象者は、市民ニーズ(需要)や社会経済情勢に合っているか。	
		本事業は、「性的指向」や「性自認」に関する理解を深め、LGBTQなどの人々に対する誤解や偏見をなくすために実施するものであり、社会的ニーズも高いことから、実施は妥当である。	
効率性(手法)	事業の効率性	デジタル化や人員の見直し、業務の進め方・手続きの簡略化などにより、効率的に業務を行っているか。また、民間委託や指定管理者制度の導入など実施主体の見直しや、さらなる活用はできないか。	A
		受付・結果集計については、効率的に実施している。カウンセリングは委託し、効率化を図っている。	
	負担割合の適正性	補助・助成金事業や市単独の扶助費における市の負担(補助)割合は適切か。また、受益者負担を求める事業において、受益者負担の設定は適切か(新たに受益者負担を求めることはできないか)。※該当する場合のみ記入	
		該当なし。	
達成度	目標の達成度	単年度における事業量(活動量)が達成できたか。	A
		いずれの事業も計画通り達成することができた。	

7.本事業の総合評価

総合評価	評価理由
計画通り実施	多様な性への理解促進に関する各種の啓発事業により、市民・事業者等への意識醸成を進めることができた。 「女性・SOGI悩みごと相談」は、女性相談にSOGI相談を追加したことで、性的指向や性自認に関する相談を受けられる体制ができたと評価する。

Action【改善】

8.総合評価を踏まえた今後の方向性

【改善点及び、今後の取組方針】

多様な性への理解促進のための意識の醸成は、今後もあらゆる機会を捉え、手法を工夫して取組を進めていく。
「女性・SOGI悩みごと相談」は、カウンセリングの委託や、福生市との協定による相互利用を今後も実施していく。

令和4年度における事務事業の実施結果(Do【実行】)から、「妥当性」、「効率性(手法)」、「達成度」の3つの視点で事業を評価した結果と、これらを踏まえた「総合評価」を記載しています。(Check【評価】)

- 妥当性
「市が実施(関与)することの妥当性」、「事業・対象の妥当性」の2項目から事業実施の妥当性を評価します。
- 効率性(手法)
「事業の効率性」、「負担割合の適正性」の2項目から効率的に事業が実施できているか評価します。
なお、「負担割合の適正性」は事業の性質が、補助・助成金事業または市単独の扶助費の場合と受益者負担を求める(新たに求めることが可能な)事業についてのみ、評価します。
- 達成度
計画した事業量(活動量)を達成したかどうかで事業を評価します。
- 総合評価
「妥当性」、「効率性(手法)」、「達成度」の3項目の評価を踏まえて、事業の総合評価を行います。

※各項目の評価評点については、別添資料をご確認ください。

評価(Check【評価】)を踏まえた今後の事業の方向性を記載しています。
(Action【改善】)
なお、総合評価が「計画通り実施」の場合は、原則として事業の今後の取組方針のみ記載しています。

○各項目の評価評点について

項目	評価評点
妥当性	A：妥当である B：おおむね妥当である C：見直しが必要 D：休・廃止の検討が必要
効率性（手法）	A：効率的である B：進め方等の改善が必要 C：規模や内容、実施主体の見直し等が必要 D：抜本的な見直し、休・廃止の検討が必要
達成度	A：達成度80%以上 B：達成度50%以上80%未満 C：達成度20%以上50%未満 D：達成度20%未満
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施 ・改善が必要（進め方等の改善） ・改善が必要（規模や内容、実施主体の見直し等） ・改善が必要（抜本的見直し、休・廃止の検討）

○総合評価の判定について

